

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

様々な事業ドメインにおいて革命を起こし、従来のビジネスモデルを変革する。

② 中長期の経営戦略

1. HR領域での収益拡大

アライアンス・マーケティングの拡大、ユーザーニーズを捉えた企画やアプリ開発、AIを活用した制作業務の効率化に取り組む。

2. 不動産領域での多様化

個人向けは引越し見積りや生活関連サービスへのクロスセル拡大。法人向けは掲載メニュー見直しと仲介型ビジネスモデルへの進化を図る。

3. DX事業の両輪展開

SaaSサービスの提供とDX営業支援を両輪で回転させ、グループ内リソース最適化と売上・利益最大化を支援する。

③ 対処すべき課題

① 営業体制の強化

- ・既存取引先との深耕と新規顧客開拓の加速。
- ・持株会社化を機に事業会社同士の連携を深化させる。
- ・既存顧客へのクロスセル推進。

② マーケティング強化と認知拡大

- ・Webマーケティングの効率化を推進。
- ・アライアンス・マーケティングの適用範囲拡大。
- ・ブランディング目的のマーケティング活動と費用対効果の検討。

③ 人材確保・育成とシステム基盤

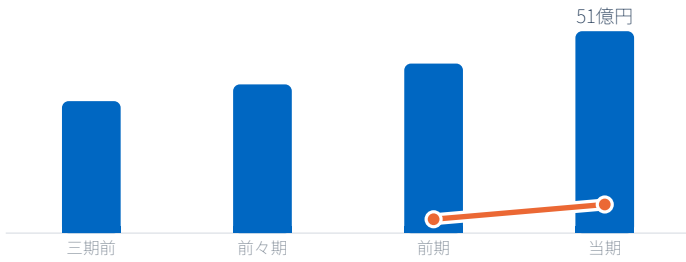
- ・優秀な人材確保と公正な評価基準・教育研修の充実。
- ・個人情報に接しない生成AI活用による生産性向上。
- ・市場環境変化対応のシステム開発・改良・保守管理体制の整備。

面接で使えるポイント

- ・インターネット広告市場3兆6,517億円の拡大環境で、マーケティング事業とDX事業を展開する成長企業。
- ・2024年10月の持株会社化により、複数事業会社の連携強化で新規顧客開拓とクロスセル推進を加速。
- ・テレワーク普及による働き方多様化に対応し、HR領域と不動産領域の事業拡大を同時進行。

証券コード 6538

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
51億円営業利益率
14.2%財務健康度
56点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 41.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
585万円

サービス業内 270位/524社

平均年齢
38.9歳

サービス業内 251位/527社

平均勤続
4.1年

サービス業内 386位/527社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

